

平成 22 年食中毒発生状況の概要について

平成 23 年 7 月
厚生労働省食品安全部

1. 発生状況（事件数、患者数、死者数）

平成 22 年に国内で発生した食中毒事件数は 1,254 件（対前年+206 件）、患者数 25,972 人（対前年+5,723 人）、死者数 0 人（対前年±0 人）であった。

また、患者 500 人以上の食中毒は 4 件発生した（前年は 2 件）。

2. 月別発生状況

食中毒事件の発生が最も多かった月は、10 月の 163 件（13.0%）で、次いで 1 月の 154 件（12.3%）、2 月の 126 件（10.0%）の順であった（図 1）。患者数では、1 月の 5,658 人（21.8%）、2 月の 3,047 人（11.7%）、8 月の 2,632 人（10.1%）の順で多く、冬季の 3 ヶ月の患者数は 11,200 人と年間発生患者数の約半分（43.1%）を占めていた。（図 2）

図 1：平成 20～22 年事件数

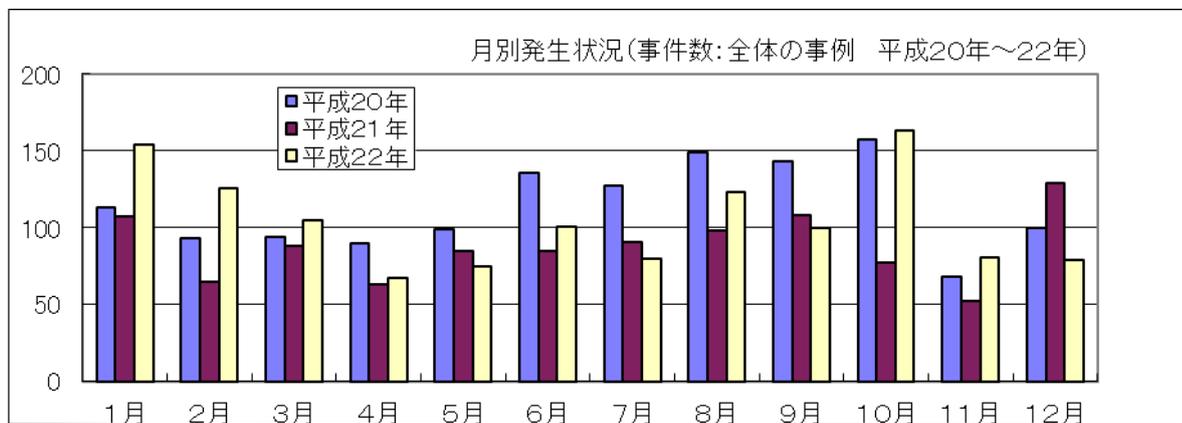
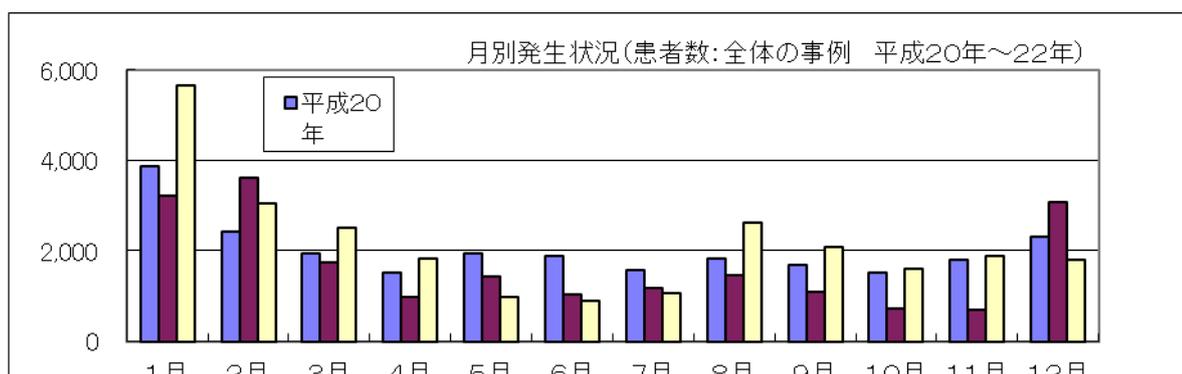


図 2：平成 20～22 年患者数

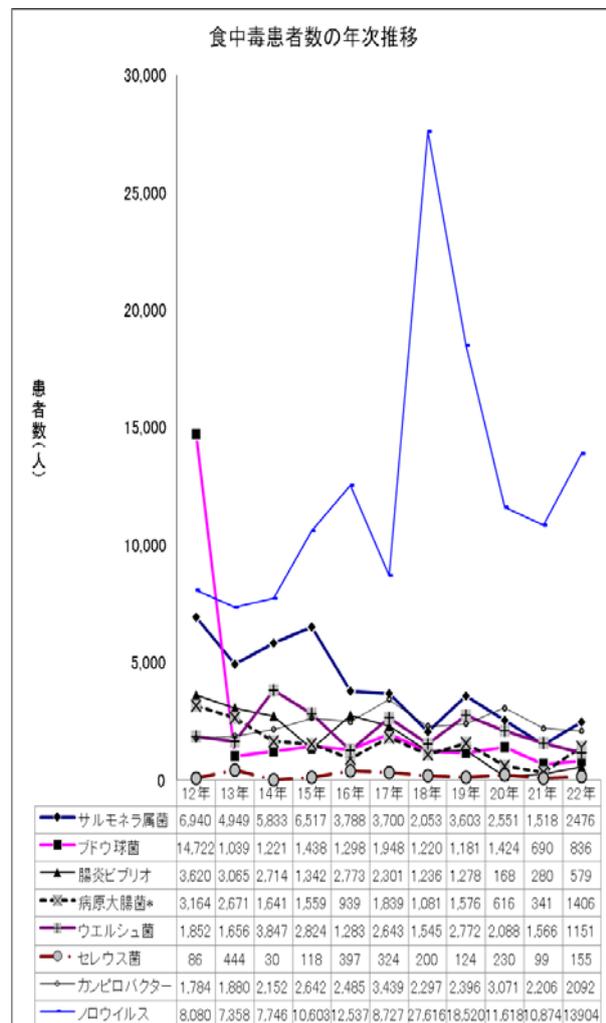
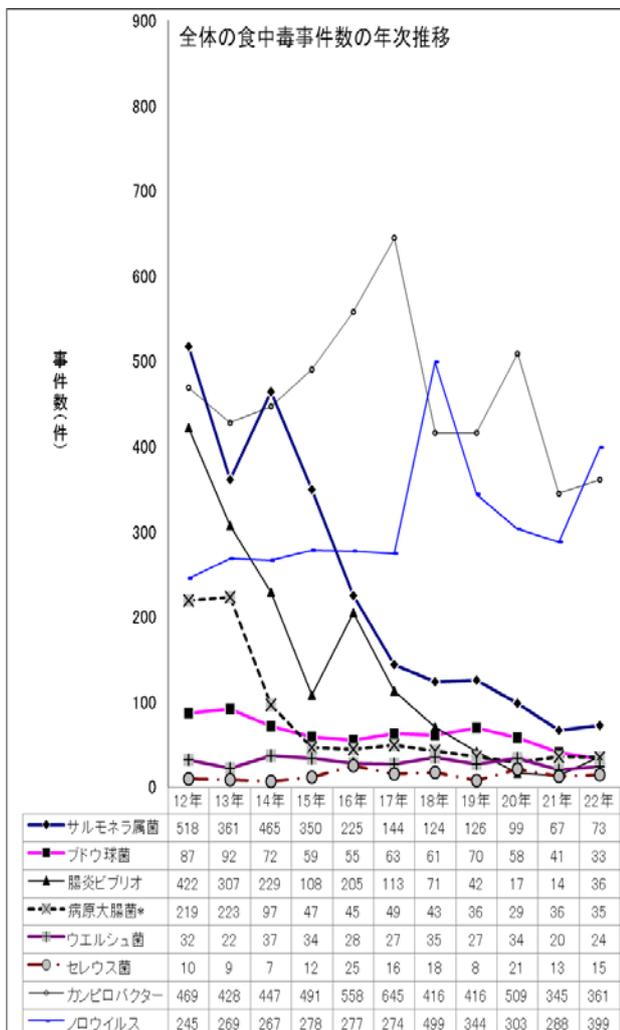


3. 病因物質別発生状況

- 病因物質の判明した事件について、病因物質別の事件数を見ると、ノロウイルス（399 件，34.4%），カンピロバクター・ジェジュニ／コリ（361 件，31.1%），植物性自然毒（105 件，9.1%），サルモネラ属菌（73 件，6.3%）の順で多かった。病因物質別の患者数は、ノロウイルス（13,904 人，58.2%），サルモネラ属菌（2,476 人，10.4%），カンピロバクター・ジェジュニ／コリ（2,092 人，8.8%），ウェルシュ菌（1,151 人，4.8%）の順で多かった。（図3、4）
- 腸管出血性大腸菌による食中毒は、事件数 27 件（2.3%），患者数 358 名（1.5%）で、いずれも血清型 O157 によるものであった。
- 病因物質別発生状況の年次別推移では、腸炎ビブリオ及びサルモネラ属菌は、事件数、患者数ともに、減少傾向にある。近年、カンピロバクターによる食中毒が増加傾向にあり、多く発生している。
- また、平成9年に病因物質としてノロウイルス（当初は小型球形ウイルス）を追加して以降、ノロウイルスを原因とする食中毒事件が事件数、患者数ともに高い値で推移しており、平成22年は、前年と比べて事件数、患者数ともに増加した。

図3：平成12～22年食中毒事件数推移

図4：平成12～22年食中毒患者数推移



4. 原因食品・施設別発生状況

- 原因食品の判明したものは、事件数 989 件(78.9%)，患者数 21,292 人 (82.0%) であった。
- 原因食品別の事件数を見ると，魚介類 (128 件，12.9%)，野菜及びその加工品 (104 件，10.5%)，肉類及びその加工品 (80 件，8.1%)，複合調理食品 (79 件，8.0%) の順で多かった。
- 原因食品別の患者数は，複合調理食品(1,992 人，9.4%)，次いで魚介類 (1430 人，6.7%)，肉類及びその加工品 (873 人，4.1%)，穀類及びその加工品 (542 人，2.5%) の順で多かった。
- 原因食品の判明したものは，事件数 989 件(78.9%)，患者数 21,292 人 (82.0%) であった。
- 原因施設別の事件数を見ると，飲食店(662 件，62.2%)に次いで家庭 (155 件，14.6%)，旅館 (78 件，7.3%) の順で多かった。
- 原因施設別の患者数は，飲食店 (11,280 人，44.7%)，仕出屋 (6,822 人，27.0%)，旅館 (3,340 人，13.2%) の順で多かった。

5. その他

平成 22 年食中毒発生状況の詳細等については、厚生労働省食品安全部ホームページ「食中毒に関する情報」 (<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/>) で公開している。

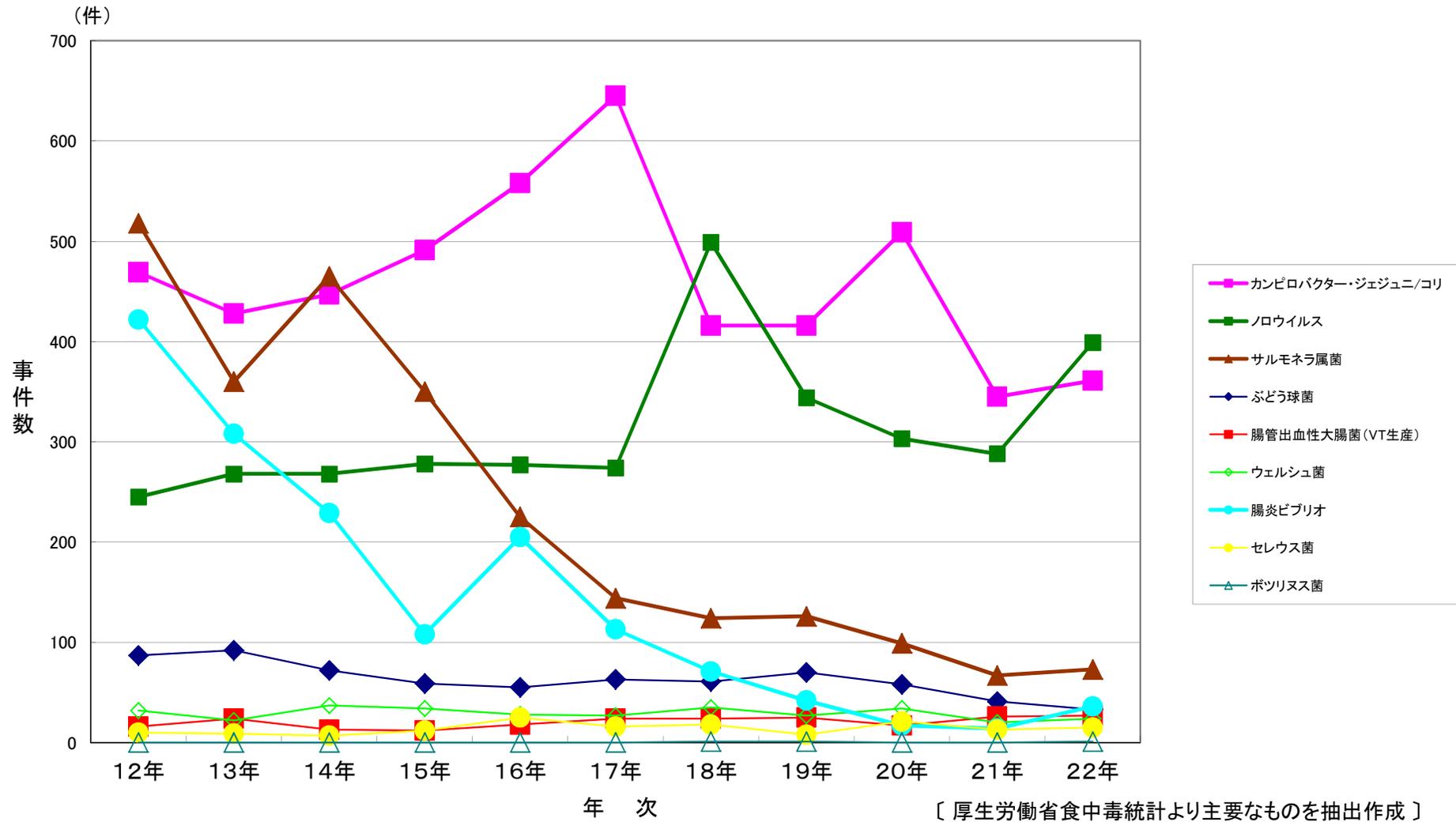
1 事件当たりの患者数が500人以上の食中毒事件
平成22年

発病月日	原因施設所在地	原因食品名	病因物質種別	原因施設種別	患者数	死者数	摂食者数
1月21日	愛知県	弁当	サポウイルス	仕出屋	655	0	3,827
1月21日	倉敷市	不明	ノロウイルス	仕出屋	1,197	0	3,092
8月21日	香川県	弁当	サルモネラ属菌	仕出屋	654	0	2,002
9月7日	豊橋市	弁当	病原性大腸菌	仕出屋	503	0	1,687
合計					3,009	0	10,608

死者の出た食中毒事例(平成22年)

原因施設都道府県	発病年月日	原因施設種別	原因食品名	原因食品種別	病因物質種別	患者総数	死者総数	摂食者総数	性別、年齢
事例の発生無し									

参考：食中毒発生状況の推移（細菌・ウイルス別 事件数）



参考：食中毒発生状況の推移(細菌・ウイルス別 患者数)

